

令和6年度授業紹介「チーム医療：心と頭をバランスよく」

－ “プレイバックシアター劇団 365” とチームワークを学ぶ－

看護学科3年生のチーム医療の授業に、岡山・香川県を中心に子育て中のお母さん達で結成する『プレイバックシアター劇団 365』を招いて演習を行いました。地域健康サポーター実習指導者のIINEの田村さん、さらスポーツクラブの笹崎さん、森澤さんもご参加頂きました。プレイバックシアターとは、即興劇で、司会者（コンダクター）が、観客から募集した語り手（テラー）にインタビューし、その場で語られたストーリーを役者（アクター）がその場で演じます。その演技に演奏家（ミュージシャン）が即興で演技にあわせてバックミュージックや効果音をつけます。語り手にとっては、演技の中の自分を見ることで自分自身を俯瞰してみることが出来ます。観客にとっては、他者の経験をまるで自分のことのように感じ、共感や癒し・勇気をもたらすと言われてています。

演習では、他者と一緒になにかを行った体験の難しさ・勇気、できた時の達成感・喜び・安心感、上手いかず後悔やもやもやした感情が残ったこと、普段と違う困った状況を乗り越えようとする中で他者と協働せざるを得なかったこと等、が語られました。感想は、「癒された」「話やすかった」「何をさせられるのか最初は不安だったけどリラックスできた」「他の人の話を聴いて気持ち一杯になった。自分の感情を感じる事ができた」等がありました。チームワークに必要な自分の気持ちを大切にしつつ、他者の気持ちに共感する大切さを学ぶことができました。

（チーム医療担当教員：岡田麻里・竹内千夏）



プレイバックシアター劇団 365 の皆さん



役者(アクター)と演奏家(ミュージシャン)のチームワークによる即興劇の様子



学生が語った思いを表現する役者(アクター)



年代や職種等も様々な人で形成されたチームになりました！